

**令和3年第7回
土岐市教育委員会定例会会議録**

土岐市教育委員会

令和3年第7回土岐市教育委員会定例会会議録

議事日程

令和3年7月30日（金曜日）午後3時00分開議

- 日程第1 会議録署名委員の指名
- 日程第2 令和3年第6回土岐市教育委員会定例会会議録の承認
- 日程第3 議第31号 令和4年度使用小・中学校用教科用図書の採択について
- 日程第4 議第32号 専決処分の報告及び承認について
専第7号 市職員の人事異動について
- 日程第5 報第8号 土岐市会計年度任用職員の任用について
- 日程第6 教育長報告

本日の出席者

教	育	長	山	田	恭	正	君
委		員	大	橋		廣	君
委		員	加	藤		悟	君
委		員	大	野	良	子	君
委		員	酒	井	真	吾	君

説明のため出席した者

事務局長	松	原	裕	一	君
教育次長	塚	本		修	君
教育総務課主幹	加	藤	貴	史	君
生涯学習課課長補佐	清	本	直	子	君
文化スポーツ課長	吉	本	順	一	君
給食センター所長	林		孝	子	君
図書館庶務係長	加	藤	万	貴	君
子育て支援課長	伊	藤	智	治	君

- ・ 会議の傍聴人 なし
- ・ 会議に遅参した者 なし
- ・ 会議の公開、非公開の状況 公開
- ・ 教育長報告 あり

場所 文化プラザ特別会議室

会議録作成者

教育総務課主幹	加	藤	貴	史	君
---------	---	---	---	---	---

開会 午後3時00分

山田教育長

日程第1会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、会議規則第15条第2項の規定によりわたくしから、大野良子委員を指名いたします。

次に、日程第2 令和3年第6回土岐市教育委員会定例会会議録の内容について承認を求めます。

会議録の内容については、ご異議ありませんか。

委員一同

異議なし

教育長

異議なしと認めます。

次に、日程第3 議第31号 令和4年度使用小・中学校用教科用図書の採択について を議題といたします。

この議題については来年度使用する教科用図書を採択するもので、正式決定するまでは発表を控えることとなっており、秘密会とすることが適切かと思いますが、いかがでしょうか。

委員一同

異議なし

教育長

それでは、この議題については秘密会とします。

ここで暫時休憩といたします。

教育長

それでは、休憩前に引き続き会議をいたします。

次に、日程第4 議第32号 専決処分報告及び承認について 専第7号 市職員の人事異動について を議題といたします。

本件について、事務局の説明を求めます。

教育総務課主幹

《説明》

教育長

これより質疑・討論を行います。

質疑・討論はございませんか。

加藤委員

もともと退職を予定されていたのか。その代わりの方の問題はありませんか。

伊藤子育て支援課長

すでに、育児休暇をとっており、また担任を持っていないです
ので代わりを立てることはございません。

教育長

なければ質疑・討論を終結いたします。

続いて採決を行います。

議第32号 専決処分の報告及び承認について、原案のとおり可決する
ことにご異議ありませんか。

委員一同

異議なし

教育長

ご異議がないようですので、議第32号議案については、原案のとおり可
決することに決しました。

次に、日程第5 報第8号 土岐市会計年度任用職員の任用について
事務局の報告を求めます。

教育総務課主幹

《資料にて説明》

教育長

これより質疑・討論を行います。

質疑・討論はございませんか。

なければ質疑・討論を終結いたします。

それでは、報第7号 土岐市会計年度任用職員の任用について、ご承
知おきいただきますようお願いいたします。

教育長

次に、日程第6 教育長報告をいたします。

1つ目は、前半の教育委員訪問お忙しい中、参加いただきまして、
ありがとうございました。また後程、委員さん方の感想や思いがあ
りましたら、ご助言をいただけるとありがたいと思います。

私自身の印象としては一生懸命取り組んでやってくれているな
と思ったが、取り組みに差があるので、少し心配をした部分があ
りました。その部分は2学期仕切り直してやってもらいたいと思っ
たところです。しかし、子供の様子そのものは随分今年は落ち着
いてスタートできていると感じ校長会などで話をさせていただきました。

2つ目は、へき地教研とあって、濃南小学校よりもっとすごい僻
地へ希望して、濃南小学校から郡上市の高鷲北小学校というところ

へ異動した男性職員が1人いますので、激励訪問へ行って話を聞いてきました。

自然に囲まれて空気がいい、環境もいい、子供も田舎の子でいいやろうなあという思いでいましたが、ものすごく大変だということでした。

何が大変なのか聞いたら、実は地元の子は少ししかおらず、他は都会から移住してきた子が多くいるということでした。それで、その移住してきている理由は、子供さんが都会の学校の大勢の中でも馴染めない、どうもうまくいかない、だから自然の豊かな少人数の学校に来るときっと自分の子供が自然にすくすく育つだろうという思いの親御さんが、こっちに移住してみえて、子供さんはそこに通い出すということで、特別支援のような学校なんです。とのことでした。どの学年も特別支援学級のようになっており、学校課題の目標にも特別支援教育の充実しているのがあり、手のかかる子供が多いところでした。

だから、私たちは傍目からみるといいなど、物事を見て言ってしまうんですけど、やはり足元を見て、対応していかなければいけないという世の中になってきているんだと感じました。

3つ目ですが、委員さん方には申し訳なかったですが、コロナ禍なので、できるだけ少人数で、中学生のサミットさせてもらいました。濃南小中学校を会場校として、体育館で密にならないようにして、各学校の校長さんも来ないようにして、もう極力少なくして、子供たちだけでサミットで交流会をさせてもらいました。

今日の内容は濃南小中学校を他の中学生で見せてやりたい、それが一つ大きな目的で、二つ目は、コロナ禍の中でどうやって頑張っているか、三つ目は、2学期からどうやって頑張ろうかという目標を話してくれました。

今年大きく変わった発表の中身としては、みんなタブレットを持ってきて、プロジェクターにササっと接続して、タブレットで作ったプレゼンをピピッと映して説明して、それは見事に、ICTが生きているなど感心しました。

来年は西陵中学校を会場に計画されていますので、委員さん方にも見ていただきたいと思います。

4つ目ですが、以前より運動能力の苦手克服の話を大橋委員さんにご助言いただいておりますが、上手くプランニングができていなく申し訳なく、今年は違う業者で、一部の子だけ集めて試しにや

